

耕種事業概念図(農家手取り最大化プロジェクト)

JAグループ愛媛の創造的自己改革の実践

生産・販売・購買一体となった総合実践メニューの実証・展開

マーケットインに基づく生産・販売事業の確立

<生産振興・産地づくり>

- 農地のフル活用
- 重点品目の生産拡大
- 業務用など需要に基づく生産
- 食の安全・安心対策

<販売事業の強化>

- 買取・直販・企画販売ならびに共販量の拡大
- 知財活用による高付加価値化

営農・経済事業の機能・体制強化

<TAC活動の強化>

- JATAC活動の活性化支援
- 各部門・連合会との連携による県域での訪問活動の強化
- TAC・営農指導員の人材育成

<県域担い手塾・センター>

- 担い手の確保・育成支援(就農相談会の開催)
- 労働力支援対策

生産トータルコスト低減

<生産流通コスト引き下げ>

- 銘柄集約・担い手直送など価格刈り創出と弾力的価格設定
- 低コスト資材・農機の普及
- 集出荷体制の効率化、広域物流・広域選果体制の確立

<生産性の向上>

- 収量・品質向上・省力化技術・資材の普及
- 土壌診断に基づく適正施肥

JA・全農連携強化による農家手取り最大化・農業生産拡大

品目別
テーマ

【食糧生産班】

- 県育成品種(ひめの凜)の普及・拡大 350ha
- 多収米(あきだわら等)の拡大 100ha
- はだか麦の反収360kg/10a・販路拡大

【果実班】

- 温州みかん・伊予柑等の生産振興対策(土壌診断における適正園地 30%以上)
- キウイフルーツの生産量・面積の維持 315ha

【野菜花卉班】

- 夏秋きゅうりの生産振興(新規5ha)
- 高収益作物(いちご)の生産振興(新規3ha)

生産
販売
流通

- ひめの凜:全農の一元集荷・販売
- 多収米:大規模農家(法人)訪問強化による作付拡大と集荷率向上
- はだか麦:基本技術の徹底による安定生産加工品の開発・販売による消費拡大

- 温州みかん、伊予柑の品質および正品率の向上
- キウイフルーツかいよう病対策、立枯れ症防止等、生産指導の実施
- 計画出荷の遵守、販売対策の徹底、企画販売の拡大、新生活様式に沿った消費拡大対策

- JA域を越えた既存集出荷施設の広域利用拡大による出荷労力軽減・ロットの拡大
- 生産振興支援要領の活用、優良生産者の栽培技術共有化による出荷数量の確保(きゅうり5,826t、いちご935t)
- 出荷規格の見直し(いちごレギュラーP 270g→250g)
- 企画販売の拡充(きゅうり270万、いちご190万)

購買

- 主要産地の土壌診断結果に基づく土壌改良剤の施用・推進
- 多収実現に向けた生産資材の普及
- 大規模農家・法人へのフレコン導入による省力化

- 温州みかん・伊予柑の定点土壌診断結果に基づく土壌改良資材の施用推進
- 施肥労力資材の開発
- 温州みかん品質向上対策としてのマルチ推進強化

- いちごの規格の見直しにともなう出荷資材統一

営農

- 外部労働力等の活用・組み合わせ実証
- 団地化・周年化と水田フル活用実証の検討(大規模農家育成実証/生産規模拡大実証)